

氏名	田 村 哲 生		
学位の種類	医 学 博 士		
学位授与番号	乙 第 1594 号		
学位授与の日付	昭和60年9月30日		
学位授与の要件	博士の学位論文提出者（学位規則第5条第2項該当）		
学位論文題目	肺癌の診断に関する研究 第1編 病巣気管支洗浄法による末梢型肺癌の診断 第2編 喀痰誘発法と Saccomanno 法の併用による喀痰細胞診		
論文審査委員	教授 太田善介	教授 長島秀夫	教授 栗井通泰

### 学位論文内容の要旨

#### 第1編

末梢型肺癌の病巣気管支に気管支細胞洗浄法を施行し、得られた洗浄液の細胞診を行なった。細胞診陽性率は63.3%であり、気管支擦過法が困難な症例でも細胞診陽性が得られ、末梢型肺癌の診断率を向上させることができた。また、洗浄液中 CEA 濃度は肺癌症例で高く、補助診断として有用であると考えられた。

#### 第2編

喀痰細胞診の陽性率を向上させるために、喀痰誘発法と Saccomanno 法の併用による喀痰細胞診を行なった。この方法により、97.1%に有効検体が得られ、細胞診陽性率は、肺門型肺癌で84.8%、末梢型肺癌で38.3%であり、肺門型肺癌については満足すべき成績が得られた。また、末梢型肺癌でも、腫瘤径が3 cmを越える症例では54.7%に細胞診陽性が得られた。一方、血痰症例の細胞診陽性率は91.7%と高かった。

### 論文審査の結果の要旨

本研究は肺癌の診断に関する臨床的研究であり、末梢型肺癌の病巣気管支の気管支肺胞洗浄法による細胞診を施行することにより診断率を向上させ、また喀痰誘発法と Saccomanno 法を併用することにより喀痰細胞診の診断率を向上させることが出来ることを示した肺癌診断上価値ある業績である。

よって本研究者は医学博士の学位を得る資格があると認める。